

BCP策定方法を解説

大垣西濃信金がセミナー

BCP策定の流れを解説する田中美穂さん
＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫



大垣西濃信用金庫は15日、BCP(事業継続計画)策定支援セミナーを大垣市恵比寿町の同金庫で開いた。中小企業のBCP策定を支援する岐阜レジリエンス推進協議会事務局長の田中美穂さんが、BCPの策定方法やデジタル技術を使った支援システムについて

語った。中小企業の経営者や総務担当者ら約40人が参加。田中さんはまず自社の事業に優先順位をつけ、失うと会社の経営に大きな被害を及ぼす中核事業を特定することが必要とし、「限りある人員で会社の事業を継続させる。中核事業の特定なく

して有効なBCP策定はない」と強調した。付随する重要業務や資源の洗い出し、復旧に必要な目標時間やレベルの決定、被害想定、リスク分析、事前対策など策定までの流れを解説。社員教育や訓練を通してBCPを社内に着実させることが重要とし、必要に応じて見直しや更新を行う「BCM(事業継続マネジメント)」の考え方も紹介した。同協議会が地域防災の専門家の監修で開発したBCP策定ウェブシステムも紹介した。(宮本寛)